

平成 26 年度 春期 プロジェクトマネージャ試験 解答例

午後 I 試験

問 1

出題趣旨	
<p>プロジェクトマネージャ (PM) は、システム開発プロジェクトにおいて、ステークホルダを適切に認識し、その要求事項を把握し、計画に反映していく必要がある。</p> <p>本問では、ステークホルダの様々な要求を洗い出し、時間の制約の中で、どのように全体のスコープを定義していくかを問うことで、プロジェクトマネジメントの実務的な能力を評価する。また、人材情報を扱うシステム特有のリスク対応として、個人情報の取扱いに関する知識を問うことで、リスクマネジメントの実務能力を評価する。</p>	

設問	解答例・解答の要点	備考
設問 1	起因する問題点の影響度から要求の優先順位を付ける。	
設問 2	(1) 各記入シートが記入しづらいので改善してほしいという社員の要望	
	(2) リスク 記入内容が統一されず確認に時間が掛かる。 対策 ・各項目の記入方法を統一する。 ・人材関連情報の項目と記入方法を整理する。	
設問 3	(1) 類似案件の経験者や必要な公的資格保有者の情報を迅速に入手できること	
	(2) ・人材情報を迅速に提供する仕組みの構築では一致しているから ・人材情報を迅速に把握する要求では一致しているから	
設問 4	(1) 操作性に関する要望を仕様で反映させるため	
	(2) 人材情報が漏えいすること	

問 2

出題趣旨	
<p>プロジェクトマネージャ (PM) は、システム開発プロジェクトにおいて、スケジュール計画を立案し、プロジェクトの進捗状況を適切に評価して、問題、課題及びリスクがある場合には、適切な対策を講じる必要がある。</p> <p>本問では、インターネット通販企業におけるシステム開発プロジェクトの進捗管理を題材に、進捗管理計画の立案、進捗状況の評価、問題発生時の対応について、PM としての実践的な能力を問う。</p>	

設問	解答例・解答の要点	備考
設問 1	・プロセス導入の効果が十分に得られないこと ・プロセスが正しく定着しないこと	
設問 2	(1) X_i には所要日数ではなく計画工数を用いる。	
	(2) アクティビティの成果が、日ごとに一定に増加すること	
設問 3	下線② クリティカルパス上のアクティビティの遅れで、プロジェクト全体が遅れる。	
	下線③ レビューが不十分となることで、他の作業者の成果物の品質低下につながる。	
設問 4	・Q&A 表に散在している仕様を見落とししたり、仕様の把握に時間が掛かること ・Q&A 表に散在している仕様の見落としや、手戻りが発生すること	

問3

出題趣旨	
<p>プロジェクトマネージャ（PM）は、システム開発プロジェクトにおいて、顧客の要求の背後にあるリスクを察知し、適切に対応をとる必要がある。</p> <p>本問では、“現行システムの仕様どおり”という要求に対する契約面、スケジュール面などでの対応を問うことで、PMのリスク対応能力を評価する。</p>	

設問	解答例・解答の要点		備考	
設問1	ギャップ	仕様が明確という見解と設計ドキュメントに改修履歴が反映されていない状況		
	リスク	改修で変更された機能が実装されず手戻りが発生して納期に遅れること		
設問2	a	新たに作成した外部設計書に基づいて新システムの開発を行うこと		
設問3	(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・委託先の客観的な評価ができる。 ・調達コストを適正にできる。 		
	(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・A社と同様の品質管理基準を有していること ・品質に関するA社の検収条件を満たすこと 		
設問4	(1)	本番データが現システムの全テストケースをカバーしているわけではないから		
	(2)	リスク	<ul style="list-style-type: none"> ・実装が漏れている機能が発見される。 ・処理結果に不一致が発見される。 	
		対応策	<ul style="list-style-type: none"> ・現システムの処理結果を使う。 ・現システムに切り戻す。 	